

「こうの家」による地域再生の提案

その仕組み

「こうの家」は、養老孟司氏が提唱している「現代の参勤交代」に着想を得た県南漁村集落再生のための住宅です。現代の参勤交代とは、都市部と地方の往復居住、二地域居住ともいわれ、都市部の人々が毎年ある期間、もしくは週末毎に地方へ移動して生活することで、精神的な豊かさを得ることができると同時に、地方の活性化につながるという考え方です。都市と地方が交や、巧、講などの様々な「こう」でつながり、光や幸、公などの多様な「こう」をもたらします。

都市生活者や企業、団体のセカンドハウス、サテライトオフィス、保養所などを漁村集落の空家や高台に設け、都市生活者のもう一つのくらしの場、安らぎの場、都市と地域の交流拠点として活用、交流人口・協働人口の増加による地域再生を図るもので

